

## プロフィール

左官 挾土秀平 (はさど しゅうへい)

1962年 岐阜県高山市生まれ。

1983年 技能五輪全国大会優勝。

1984年 同世界大会出場。

2001年 「職人社秀平組」を設立。



土にこだわる壁づくりを目指し、

普段は、近代的な建築物や個人住宅、伝統的な土蔵や茶室の壁塗りを行う。

天然の土と素材を使った塗り壁作りは、

モダンかつ斬新でほかに類がなく、独自の世界を生み出している

世界にも活躍の場を広げている。

また左官だけにとどまらない空間や作品、デザインを数多く発表し、

画廊・ギャラリーによる個展活動も含め幅広い活動を展開している。

代表的な仕事は、「金沢黄金の蔵」「ザ・ペニンシュラ東京」「洞爺湖サミット」

「氷雪の壁」「銀座WAKOウインドウディスプレイ」「黒■の間」

「アマン東京」「歓待の西洋室」「大河ドラマ真田丸」など多数。

著書に『のたうつ者』(毎日新聞社)、壁と詩を綴った三部作『青と琥珀』(木耳社)

『ひりつく色』、『ソリストの思考術 挾土秀平の生きる力』(六耀社)。

ブログ『遠笛』は人気を博している。

公式サイト <http://www.syuhei.jp/>

職人社 秀平組を主宰。

近代的な建築物や個人住宅の壁塗り、土蔵や茶室。

独自の塗り壁作りは、モダンかつ斬新で、他に類がない。

その他、自由な発想から新しい空間や作品、デザイン、著作など多数。